

巻 頭 言

甲南大学学生相談室長
全学共通教育センター教授

山 崎 俊 輔

甲南大学学生相談室紀要第31号の発刊を通して、今後の研究並び学生相談室活動がより一層充実していくことと期待いたします。

今年度より、「人物教育の率先」を掲げる甲南大学では、近年の多様で複雑な学生支援ニーズの高まりに対応するために、これまでの学生支援機能を集約し一体化させた学生支援機構を設置しています。本学の学生相談室は、その組織の中の学生相談センター内に所属し、「相談・教育・研究」の有機的循環による専門的活動の質の維持発展を図り、学生支援に関する相談対応の中心的役割を発揮できるよう、スタッフ一同力を合わせながら、最大限の努力を続けております。

近年の世界的な「コロナパンデミック」、それに続く「ウクライナ情勢」「イスラエル、パレスチナ情勢」等、また国内の大きな自然災害や事故等、国内外とも混沌とした情勢や予測不可能な状況の発生が続いています。これらの社会現象の人々の心理面に与える影響の大きさを危惧しなければなりません。学生においても心理的な理由から学習の継続や生活の中での困難さを抱える学生が多くなることが推測されます。本学学生相談室では、学生一人ひとりの心のケアや学生自身の成長のために何ができるのか、今学生にとって必要で正しい支援や教育内容は何かと常に問い続けていかなければなりません。

甲南大学の教育は、「めまぐるしいスピードで変化する予測不可能な時代を『正志く、強く、朗らかに』生き抜く人間力の育成」を目指しています。

「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」という創立者の教育理念と、「様々な学生が安心して学び、本学の建学の精神である個性が尊重され、個々の力が最大限に発揮して、社会の中で自己実現できるよう、個別・少人数での心の支援をする」という本学学生相談室の活動指針のもと、本学学生相談室が学生の成長や心のケアを支える大切な機関として、今後ともますます発展、充実していくことを心より期待したいと思います。